

長野支部だより

発行責任者：支部長 伊藤 誓敏

編集：編集委員会

学年別懇談会開催

2月14日（土）午後1時より、長野高専において令和7年度学年別懇談会が開催されました。長野支部に加え岳南支部からの参加者を含め75名の会員が出席しました。来賓の渡辺誠一 副校長・岡田学 学生主事補から学校情報をご紹介いただいた後、学年別の懇談が行われました。

懇談会では保護者からの質問に各学年担当の先生方から丁寧にご説明をいただきました。懇談会後は食堂において懇親会が開催され、先生方7名を含む50名が参加し楽しいひと時を共にしました。



学校情報

渡辺 誠一 副校長



学校の様子について

・1年生

主に後期、夏休み以降の話になります。系の選択にかかわり、特に5年生から様子を聞く交流会を計画しました。ただ、5年生はまだ旧課程の学年になりますので、正確に伝えられることと伝えられないことはありましたが、2年生以降の学びについて話を聞いたのではと思います。

この交流会と同時期に、モデルコアカリキュラムという、どこの高専でもこれだけは学んでもらいたいという、いわゆるコアのカリキュラムに準じた試験（CBT）を一斉に実施した結果、25問中、正答が16.8問でした。多分6割正答だと15問ぐらいでしょうか。おおよそ6割は超えましたが、6割未満が28%ほどいるということは、力がついてないというような証拠でもあります。是非、これから力をつけて貰えればと思っています。

もう1つ、系の選択を行いました。年度当初からIE系が人気で、最終段階でも96名希望をいただきました。調整をして十数名MR系に移動していただいて、IE系85名、MR系77名、CE系41名で決定をしたという状況です。

・2年生

一番のメインがやはり台湾への研修旅行になります。かなりタイトなスケジュールでした。台湾に2便で向かう形になったため、出発時刻がバラバラになりました。来年度は一緒になる予定です。2日目、3日目のところで、観光等をしました。帰りの便の関係で最終日は移動日になりました。2年生の保護者の方には夜遅く10時過ぎぐらいにお迎えに来ていただいて、本当にありがとうございます。

・3年生

2年生が研修旅行に行っている期間中に、進路セミナーを行い、本校のキャリアコーディネーターから、進路決定までのプロセスと過ごし方を学びました。また、企業・現場見学を11月の6、7日に日帰り2日間、実施しました。機械ロボティクス系は、2クラス同じ企業を午前と午後に入れ替えの形で実施しました。毎年都市デザイン系（旧環境都市）は初日が測量実習というような形となっていて、本年度は山ノ内町で測量をさせていただきました。

・4年生

特に進路に向かって色々あるわけですが、まず11月にインターンシップの報告会を行いました。夏休み中に、2週間とか1週間、1週間×3箇所行ったという学生もおりました。報告会には企業の方や、来年度実施する3年生も参加していただきました。ただ、残念なことに、午後になったら3年生の姿が本当に少なくなり、4年生は企業の方に説明してるというような状況になってしまいました。11月の5～7日の3日間、県外の手前の企業様をお願いして、見学に行きました。

実際にインターンシップを行う際には、本校の場合、マナー講習を行ってから、ブース形式で企業から実習の説明を受けて、行き先を決めてから実習する形を取っています。

1年間かけて、全系共通で、エンジニアリングデザイン実践という課題解決型の実験を実施しました。企業の皆様からテーマを提供して頂きました。また、学生から提案したテーマや、学校側から提案したテーマで実施したケースもあります。

・5年生

卒業研究発表会が1月21日に終わりました。体調不良で、その時発表できなかった方も、後日対応して頂きました。私のところの卒業研究の学生も、先週卒業論文を出してくれました。

・学年末の成績

後期の中間試験については、インフルエンザなどで追試験が多く、1月終盤までずれ込んだので、最終成績が確定できていないクラスもありました。中間試験の成績は悪く、期末になると成績が上がる傾向があり、学年末も似たような傾向になるかと思います。3年生が苦労するというのも分かるので、頑張ってもらいたいと思っています。

・科目の選択について

情報エレクトロニクス系、機械ロボティクス系、都市デザイン系とありますが、その中で、高専機構が定めているモデルコアカリキュラムというのがあります。情報エレクトロニクス系は、電気電子と情報の2つの分野に分かれて取れるような形になるので、結構すっきりしていますが、機械ロボティクス系が、機械工学の分野と電気電子の分野の一部が融合した形になっています。学生から聞かれるのは、例えば、都市デザイン系の学生から、建築の科目を中心に受けたいのに、なんで土木の科目受けなければいけないんですか？と質問されました。また、機械ロボティクス系の学生から、情報系を勉強したいのに、なんで機械工学の科目を受ける必

要があるんですか？とも質問されました。工学科は選択科目を多く設けた関係で、自分で好きなようにチョイスできるようになりました。今回の改組の売りは選択科目にあります。チョイスできるようにした関係で学生が困ってる事案があります。学生には、丁寧に説明して解消していければなと思っていますところ。

- ・平均点の算出方法について

平均点の算出方法が今年度から変わっています。単純に全科目足し合わせて科目数で割るというものではなく、例えば、実験の科目が96点で、単位数が4単位の場合は96点×4で計算し、それを全科目足し合わせます。その足し合わせたものを、履修登録した単位数で割るという形を取っています。そうしますと、履修登録したが途中で履修を放棄した場合、未修了になりますので、0点×単位数と計算されるため平均点が下がります。この方法に変更したこともあり、今年の5年生に比べて4年生の方が履修放棄は減りました。

成績表が3月25日ぐらいの発送を予定しています。単純に、全部の科目足し合わせて割り算をしても数になりませんので、そこだけご注意ください。5年生につきましては卒業式の日成績表をお渡しさせていただきます。

- ・入学試験について

2月12日に、合格発表を行いました。推薦選抜は枠が120人に対して116名全員出させていただき、学力選抜は116名、帰国生徒特別選抜は1名が受験して、最終的には205名の合格とさせていただきます。

- ・次年度に向けて

今まで、15週間授業を行ってから期末試験を実施していましたが、来年度は14週目終わった後に期末試験を設定して、最後の1週間を答案返却と振り返りの時間にします。これをやるこ

とによって、体調不良で欠席した場合の追試験がしやすくなります。数年前までやっていた形に戻させていただくというところです。

来年度、教育課程表の見直しと規則の変更を予定しています。①2年生の試験科目が多くなってしまっているということがあって、一部の専門科目を、2年生から1年生に下げます。②古典の授業を、新たに1年生で追加します。学科改組によって国語を削減しましたが、それを昔の状態に戻します。③物理について、2年生から始まったものを、半期分だけ1年生に下げ、半年ずつ上の学年から下げる変更を行います。④4年生の一部授業を3年生と5年生に分散させて、過密状態を解消します。⑤4年生の一部選択科目を5年生でも履修できるように変更します。⑥4年生についても選択科目と含めて4科目まで受験できるように変更しました。

・質問への回答

本校はJABEE（＝日本技術者教育認定機構）の認定校になっています。JABEEは国際的な工学教育をするプログラムに認定されている制度で、JABEEプログラムを修了すると、例えば、技術士という文部科学省が実施している国家試験の一次試験が免除になる特典があります。残念ながら、本校の卒業生が使っている事例がほとんどないというようなことも分かってきています。また、工学科の学生は適用外になるため、そのタイミングで、JABEEプログラムを廃止することに決定しました。今の5年生までがJABEEプログラムが適用になりますが、4年生以下は適用にならないという事だけご承知おきください。これは、ホームページに公開させて頂いています。

学生の皆さんを本当に温かい目で見守ってくださっていくのが、一番の願いです。これも昨年の長野支部総会でもお話ししましたが、学生がご自宅に帰っても、学校の様子どう？って聞いても、なかなか話してくれないとかいうような事もお聞きしています。自宅から通学されて

れば、お話ししやすいと思いますので、色々会話していただければと思います。何かご心配のことがありましたら、学校の方にご相談頂くというところをお願いしたいと思います。

長期休業の過ごし方ですが、春休み中はすごく暇だ、暇だって話もお聞きします。バイトですごい稼いだという話もお聞きします。バイトも人間との接点を持つという上では重要なところだとは思っていますが、バイト三昧にならずに、資格試験の勉強、特に、TOEICに挑戦して頂ければと思います。以上です。

岡田 学 先生（学生主事補）



学生生活

4月には新入生歓迎会では学生会や部活動などの説明があり、新入生ガイダンスでは担任の先生の紹介やその後の学生生活についてのガイダンスがありました。また、本校の学生会と市立長野高校の学生会と共同で挨拶運動が行われ、学校周辺において交通事故が起こらないように注意が必要な地点での声掛けも行われました。自転車にも交通違反切符の制度が導入されヘルメットの着用も努力義務となっております。本校の着用率は7割から8割程度でした。

5月にはクラスマッチがあり、天気が良くとても暑い1日でした。借り人競争や玉入れ、テニスなどが行われました。また学生会活動の一環としてキャンパスDIYワークショップとしてベンチづくりやプランターへの花植えを行っていました。

7月には学生会と学校の意見交換会が行われ、お互いの要望など意見を交換していました。また、学生会によるかき氷企画として食堂にて学生にかき氷を提供していました。

8月から9月には高専大会の全国大会があり、関東甲信越大会を勝ち上がったチームの壮行会が8月1日に行われました。10月の高麗祭の前日には体育祭も行われました。工嶺祭ではゲートが作られたり、前庭では屋台がありステージでは軽音楽部や吹奏楽部の発表がありました。クラス企画もあり、その審査と投票も行われました。11月には学食にて学生会による茶道体験会もありました。

課外活動

長野高専の課外活動は運動部が17個あり424人が所属、文化部は13個あり高専の特徴としてはものづくり系の部もいくつかあります。同好会は16個登録されています。運動部に入る新入生が増えています。以前は人数がかなり減り競技の参加人数ギリギリの部活もありましたが、今年は人数が増えております。全国高校総体まで出場した学生が陸上部におります。囲碁・将棋も全国大会へ出場しております。競技麻雀同好会が全国大会の運営にも参加しています。高専大会では今年度全国高専大会へ剣道部、硬式テニス部、バドミントン部、陸上部など多くの部活が出場しております。出版甲子園へ出場して準グランプリとなり本が出版される学生もおります。

奨学金

奨学金は学校のHPにありますのでご確認していただければと思います。掲示もしております。教員からも働きかけることがあります。保護者の方もご確認頂ければと思います。

進路

進路について本科は進学と就職がほぼ半数となっております。専攻科は進学が25%であり、大学院への進学を希望しております。本科の進学先は北海道から九州となっております。中でも多いのは本校専攻科、長岡と豊橋の技科大が多くなっております。就職先については学科によって違いはありますが、関東方面が一番多く県内就職がその次という結果となっております。ただ、会社の本社所在地での数字となっておりますので、東京に本社があり長野営業所にて採用されている学生もいるため実際の勤務地では県内が多いと思います。県内では北信が一番多い結果となっております。専攻科の進学先としては豊橋技科大、信州大学などへの大学院へ進学しております。専攻科の進学先としては本科と似たような割合となっております。

おわりに

現在は学年末試験が行われておりますが、今年度の授業が終わってから新年度まで時間があります。好きな事に時間を使えますので、有効に時間を使ってもらえればと思っております。何か気になる事がありましたら、本人や担任を通してでも良いですし、直接学校へ連絡を頂き、連携をしていきたいと思っております。以上にて私の話を終わらせて頂きます。

学年別懇談会

1 学年 小池 博明 先生



年頭に1年生は系が決定し、現在は学年末試験中で16日の月曜日が最終日となります。その後、特別編成授業でテストが返却されます。「不可」が4科目以下の場合、再試験を受験できます。再試験で、全ての科目において合格すると進級できます(1科目のみ不可の場合は仮進級することができます)。今後の学年末の日程を確認していただき、進級するうえで大事な日程を見落とすことがないようにお願いします。

1年次の成績も、進学や就職に関わってきますからがんばってほしいです。

心配なことは、担任までご連絡いただき早めのご相談をお願いします。

保護者から

Q 祝日に登校しているようなのですが、何があるのでしょうか？

A 休日に授業公開日がある関係で登校してもらっています。平日だと本校学生や中学校生徒の保護者の皆さんが来られないため、休日に公開日を設けています。年間計画にも記載があるので、ご確認ください。

補講日はHPに掲載されますが、連絡から補講日まで時間がない場合などは、教員から直接学生に連絡がいくこともあるので承知しておいてほしいです。

Q インフルエンザで登校できず、後日、補習要請連絡があったようですが、本人が把握できておらず出席できませんでしたが、大丈夫なのでしょうか？

A インフルエンザは公欠扱いとなりますが、心配であれば担任まで連絡をとってください。

Q 卒業式には在校生は出席するのでしょうか？

A 以前は、各学級から数名出席していましたが、今はそうしたことはありません。出席を希望する学生は、会場に余裕があるようなので、来ていただいても構いません。卒業生の場合、保護者の方以外のご家族の参加もできます。

Q 成績不振者への再試験の連絡は、いつまででしょうか？補習期間中、寮生は寮を利用できないのに大丈夫なのでしょうか？

A 成績処理が終わり次第、担任から連絡があります。寮も利用できます。それについても担任から連絡します。教員も何とか学生に単位を修得してほしいという思いで指導しますが、5科目以上の不可があると、再試験を受験することはできず、そのまま留年となります。

Q どの学年が「留年の可能性が高い」というものはあるのでしょうか。あるとすれば、何年が壁になるのでしょうか？

A 1年生から2年生へのギャップが大きいです。今の1年生のカリキュラムは、以前に比べて、2科目だった国語が1科目にまとまったり、物理が上の学年に上がったりして余裕があります。その分2年生になるととても大変です。専門科目も、1年生では入門編といった内容で楽しく取り組めていたと思いますが、2年生から本格的な勉強になります。物理も始まります。レポートも多くなるので大変です。このように、1年生と2年生の間に壁があるようです。

4月3日の実力テストに向けて数学は宿題が出されますが、春休みの宿題はほとんどありません。だらだらと過ごすのではなく、目標をもって過ごすことが大事だと思います。たとえば、2年次では語学研修も兼ねた台湾への研修旅行もあるので、英語のTOEICなどに挑戦できるよう、英語の語学力を伸ばすということなどが考えられます。

2 学年 西信 洋和 先生



2 学年は、14 人の保護者が参加しました。保護者から日ごろの学生の様子、親として心配に思っていることなどについて一人ずつ発表をしていく形で懇談を行いました。進路について、春休みなどの長期休みの過ごし方、AI との付き合い方などが話題になりました。

長期休みの過ごし方では、バイクの免許を取る、アルバイトをする、英検などの資格試験にチャレンジするという発表がありました。

アルバイト先について、保護者から、夏休みの選果場、スケートリンクを張る仕事、小学生対象の塾の講師、教科書の配送、年末のスーパーの総菜売場、鮮魚店、先生から、どのように見つけたか分からないが、諏訪インターチェンジ、東京で通行人の人数調査などが紹介されました。先生から、過去に長期休みの過ごし方について学生と面談した際、「留学したいからメチャお金を貯めたい。」という学生がいたそうです。その学生は、文科省の「トビタテ！留学」を活用して夏休みにフィンランドに45日間留学したそうです。今度大学の博士課程に進学するとのことでした。自分がやりたいことのためにアルバイトをするということもモチベーションを上げるためのよいのではとのことでした。

資格試験では、先生が担任する4組の学生が、「数学検定を受けたいが、一人では心細いので一緒に受けてもらえないか。」と誘われ、学生は準1級を、先生は1級を受験することになったと紹介がありました。英検2級、準1級以上又はTOEIC600点以上取ると5年生で英語の単位が免除される制度もあるので積極的にチャレンジしてもらいたいとのことでした。

昨年の台湾旅行研修旅行について、先生としては長野高専で初めての参加だったそうです。スケジュールがタイトだったものの学生へのアンケートでは「満足」と回答する数が多かった

ようです。研修旅行先が台湾ということについて心配する保護者もいるので、今後どうなるかということはあるとのことでした。

A Iとの付き合い方では、2年1組の学生が、「アプリ甲子園」で自分が解いた数学の問題が正解かどうか、足りないことは何かを教えてくれるタブレット向け数学学習アシスタントA Iアプリ「Mathmosis」を開発して優勝したと紹介がありました。最近では学生もA Iを多く使っているそうです。チャットGPTにかけるとA Iとの一致率を判定できるので、文章全体をA Iが作ったかどうかわかってしまうそうです。それを学生も気にしているようで、就職活動の自己紹介文をA Iで作ったが、「A I一致率を30%以下にしました。」と言って持ってくる学生もいるとか。A Iもまだ不完全な部分があり、たまに間違った回答をすることがあるそうです。課題の回答をA Iに任せて提出したところ、A Iが間違ったために、8割の学生が同じ間違いがある課題を提出したという事例も紹介されました。A Iの進歩は著しく、そのうち完璧な回答を出せるようになるのではないかとのことでした。一方、A Iでできることが増えた分、物事を考える部分が疎かになっている気がするとの指摘もされました。先生は数学を担当されていて、小テストを行ってA Iを使えない環境で学生たちに考えてもらっているそうです。

保護者から

Q 子供がバイクの免許を取りたいと言っている。免許取得について学校では指導がありますか。

A 学校のルールとしてバイク通学するには許可を得る必要がありますし、自動車の免許を取ったとしても、自動車での構内乗り入れは禁止されています。そのルールを守れば、免許を取る取らないについて言うことはありません。

Q 長期休業中に旅行をする際、新幹線など交通機関で学割を使うことができますか。

A 学生課に申請してもらえれば学割をもらえます。

Q 高専の卒業式は3月18日と決まっているようですが、中学の卒業式と被ります。高専と中学とで日程を調整してもらうことはできないでしょうか。

A 会場の予約が取れない場合には別の日になることもあります。基本的に3月18日に行っているようです。中学との調整については、なお検討してみます。

Q 部活は、3年で終わりになるのでしょうか。

A 特に制限はありませんので、学生次第というところ。私個人としては続けてもらいたいと思っています。

Q 寮に入っていてたまに帰ってきたときに様子を聴こうとするのですが、うるさがられて思うような答えが返ってきません。心配な面もありますが年齢に自立の頃かとも思うのですが。

A その学生は成績もいいし、クラスの仕事も率先してやってくれているので心配はしていません。ただ、寮については改修工事の予定が1年延期され4年生になってから工事になるので、通学可能性があれば、寮を出てもらうことも想定されます。

Q 進学を考えているが、どこの学校というのは本人が決めるのですか。何か紹介があるのでしょうか。

A 推薦というものもありますし、成績にもよりますが、基本的には本人が何をやりたいか、どの分野をやりたいか、その分野をやるならどこの大学の研究室に行きたいかということで決めるのだと思います。先輩方のメモや過去の資料が膨大な量あり、自由に見ることができます。学生たちはそれを見ているようです。

Q 進学か就職かは、皆いつごろ決めることになるのですか。

A 学生それぞれだと思いますが、3年の後期からかなというイメージです。

Q 進学する場合、推薦の目安があるのですか。

A 大学によって推薦の基準が異なりますが、上位30%以内というのが一つの目安になるかと思います。千葉大だと上位10%のようです。専攻科だと上位半分というところでしょうか。

Q インフルエンザが今はやっていますが、Web授業は可能なのでしょうか。

A 科目によると思います。座学の科目ならできると思いますが、実験や体育だと無理かと思っています。個人的にはWeb授業では、学生の理解度が対面の半分くらいになるかなという印象です。

Q 課題について、考察をたくさん書いた方がいい成績になるからたくさん書かなければいけないが、書けないと子供が言っていたのですが、そうなのですか。

A 課題を出した先生のルール次第というところですか。私は、数学担当なので途中の余計な式はあまり書いてもらいたくないという気持ちがあり、必要なポイントが書かれていればそれでいいと思っています。先生によっては1ページ以上書けということがあるかもしれません。その場合であれば、それに沿って書かなければいけないと思います。学生にはしっかり苦勞してもらおうということです。

3 学年 堀口 勝三 先生



工学科1学科でスタートした学生は3つの系に分かれ、3学年になり更にコースが分かれ、専門分野の学習もしてきました。

3学年の行事の様子や進路に関することなどをまとめてきましたので、スライドを見て頂きながら説明したいと思います。

今回お話しさせて頂くにあたり、他の系の担任の先生からも情報を頂きました。それぞれのクラスに特色があり、イベントへの参加に積極

的であったり授業はおとなしく真面目であったり、でもどのクラスも明るく元気があります。遅刻や提出物には気を付けたいところです。

夏休みに短期の長野高専海外研修がありました。今年は3年生が多く参加してくれました。東南アジアが多いのですが、カナダとの交流も始めています。積極的に手を挙げて、各地での海外研修に臨んでくれました。

11月には日帰り2日間で県内企業見学に行っただけで、OBの方との座談会をしてもらうこともあり、先輩からの話を聞く事ができ、学生さん達はとても参考になったかなと思っています。来年は同じ時期に2泊3日で県外企業見学に行く予定です。

4年生は将来の進路を決める大事な年になります。3年生までは、ほぼ必修科目でしたが、4年生になると選択科目が増えてきます。各系、各コースの先生と相談、指導頂いて取っていくことになっていきますが、自分がどのような会社に就職したいのか、どの学校に進学したいのか早めに考えることで、具体的に検討出来ると思います。

夏休みを利用してオープンキャンパスに行ったり、8月、9月に行われるインターンシップでは企業で実際の業務に触れることで、社会人としての働き方や自身の適性を知る事ができます。高専卒業後の進路を考える重要な一年に向けて、一緒に考えていけたらと思います。

今までの卒業生の就職先や、進学する場合の推薦の成績の目安など、細かい説明や相談などは、工嶺祭の時の個別懇談会や、2月に行われる進路説明会でもさせていただきます。

保護者からの質問

Q 最近はAIがたくさん使われるようになっていますが、カリキュラムにAIの学習を入れる予定はありますか？

A.今のところ予定はありませんが、社会も求めていますし必要性はあると思います。

学校としても検討しなければいけないことだと思います。

Q 選択科目の選択を学生と相談してもらえますか？

A. 学生が無理なく必要な科目が取れるよう、モデルコアカリキュラムをもとに相談、指導します。進級に関わる必修科目もあります。

Q 旧帝大の推薦、高専内基準はありますか？

A. 北海道大だと上位10%くらい。各学校のホームページを見ると高専からの編入率も書いてあるので参考にしてください。

Q 受験に影響するのは、4年生の成績だけですか？

A. 主に4年生の成績をみるところもありますし、1年生～4年生までの平均でみるところもあります。基本的には1年生からの平均になると思います。各学校のホームページなどに、高専からの編入試験の結果などが出ていますので、見て頂くと良いと思います。

Q 今日説明して頂いたような情報は、子ども達も知っていますか？

A. はい。資料として渡してもあります。今はインターネットでも調べるサイトがたくさんあるので、そういうものも学生さん達には紹介しています。

Q 推薦で行けない場合は、学力で受験できますか？

A. 出来ます。学校によって受験科目が全然違いますので、複数受験の場合は受験科目が同じような大学を選んで受けるのは大事なかなと思います。

Q 部活の運動部で上位の成績を取った場合、+aになりますか？

A.書類選考ではあるかも知れませんが、受験に影響はあまりないかも。どちらかという学部的にはものづくり系の方が影響あるかも知れません。

Q 専攻科はどの系も行きますか？具体的にどのランクなら検討できますか？

A.どの系も行きます。専攻科は2コースで現在は20人。成績のランクでいうと、A、Bランクかと思います。人気がありますので、成績の良い学生から決まるという感じです。進路説明会できちんとお話しさせていただきます。

Q 大学だと生協の保険などに入ったりしますが、高専は4年生からはどうなりますか？

A.高専生は学年に関わらず全員、入学時に入ってもらった保険で変わらずカバーさせていただきます。

4 学年 西川 嘉雄 先生



就職・進学

就職と進学を同時に進めることはできません。迷っている場合には担任へ相談してください。来週の就職説明会では就職なのか進学なのかをはっきりと決めておいてください。進学を希望している場合には職業の紹介は行っていません。進学を希望している場合にはこの春休みにしっかり勉強をしてください。

就職も進学も面接練習を行っています。担任やキャリアコーディネーターへ相談してください。

就職

現在は採用情報公開、エントリー、会社説明会などが行われている時期です。

▷学校推薦の場合

推薦を併願はできません。採用が内定したら必ず就職していただきます。そうしないと来年度からその企業から推薦がなくなってしまう。書類の提出は学校で行います。推薦の結果が出るまでに自由応募も考えますが、推薦が通ったら必ずその企業へ就職してもらう事になります。基準については明示されている場合とそうでない場合があります。

▷自由応募の場合

併願は可能です。必要書類は学生が適宜学生課教務係へ申請して発行してもらいます。学生自身で企業に送付してもらいます。締め切りなど担任の先生とも確認してもらい、出し忘れないようにしてください。自由応募で確約書を書くとその企業に就職してもらう事になります。インターンシップ後に早期選抜という話もありますが、確約書を提出するとその企業へ就職してもらう事になりますので担任ともよく相談するようにしてください。

▷就職試験報告書

学生には就職試験報告書を記入してもらっています。面接でどのような事を聞かれたのかなど記入してもらっています。進路支援室にて先輩が記入したものを見る事もできます、後輩もこの報告書を参考にすることができます。

進学

▷出願について

学校推薦は1つの大学のみとなり、合格したらその大学へ進学してもらいます。不合格の場合は次の推薦がもらえます。募集要項は自分で取り寄せてもらいます。書類は早めに提出してください。専攻科への出願については願書受付2週間前に調査書と推薦書を担任に提出してください。大学への進学についても証明書交付願は2週間前までに提出してください。成績証明書は発行までに時間を要する事もありますので、時間に余裕をもって申請してください。

進学の場合には1つに決めず2つか3つは受けて欲しいです。1つのみに絞ってしまうとそこに進学できない時の滑り止めがあった方が精神的に楽になります。

合格後に確約書があります。確約書を提出するとその大学に進学しなければなりません。合格発表日と確約書の提出日は確認してください。

保護者からのQ&A

Q.進学の場合は何校くらい併願するのですか

A. 2つ3つは受けてください。先輩が行った実績のある大学や豊橋や長岡は比較的とってくれます。豊橋は確約書がなく手続きの連絡が12月~1月にありました。他を受けてても返事は遅くても良いところはあります。万が一どこも駄目な場合は就職に切り替えるか、浪人することになります。1つに絞らずに複数受験する事を勧めます。また、前年度募集があった大学が今年も募集があるとは限りません。募集する学科についてや募集要項について情報収集を充分に行ってください。例えば建築学科へ進学した場合は土木だと試験が厳しくなる進学先もあります。英語ではTOEICの結果が良いと有利となるので何回も受ける事をお勧めします。有効期限内において最も良い結果を提出します。

Q.進学と就職はやる事は異なるが、進学できない場合は就職する事もあるのですか

A.あります。売り手市場なので企業が充足するまでは採用してくれます。採用される企業は充分にあるので進学が駄目になったらもう人生お終いみたいに考えないでください。来週カウンセラーの先生からも話はあると思います。相談してガス抜きをしながらやってください。

自己分析を行ってください。自分の過去から振り返り自分を知ること、どこに進みたいのか、そこを目指すために何をしたら良いのかがわかります。また、エントリーシートを書く時や面接の時に自分の考えがブレません。自分の得意な事を書く事もできますし、推薦書に反映することもできます。例えば優勝した事を書いてもその優勝するに至った経緯や自分がそのために何を行ったのかという事に面接官は興味を持ちます。

Q.来週の進路説明会までの準備しておくことはありますか

A.子と話し合っただけ同意した状況で来て頂けるとありがたいです。子と意見が異なっても意見交換はしておいてください。

Q.再試になった場合は寮生は再試や再試指導期間はどちらが良いですか

A.開寮して試験が終わったらお帰り頂いている。食事は出ません。入浴もシャワーのみとなります。

Q.同じ大学へ推薦を希望している場合は何名までと決まっていますか

A.基準を満たしていれば、全員推薦します。

Q.補修について聞きたい

A.補修は必修科目は必ず受けてください。今年、4－5年同時開講にて4年生の授業に出る学生もいましたが、大変です。補修については担任から学生に指導が入ります。5年生に進級しても必修の科目を落としていると安心できません。

Q.大学への推薦を出していても他の大学を受験する学生はいますか

A.います。推薦の基準を満たしていなければ学科試験を受けなければなりません。学校によっては推薦枠がないところもある。難関大学は元々推薦制度がありません。

Q.大学を選ぶ時に研究で選びますが、大学院の研究と大学の研究は違うのですか

A.大学によります。大学院のみに在籍する先生もいます。地方の大学は大学院と同じ研究を行っている事が多いのですが、場合によっては大学院に行つて初めてその研究ができる事もあります。大学院と大学の進学を考えると大学院の枠の方が大きいため、専攻科へ進んで希望の大学院を目指す選択肢もあります。

Q.大学の3年次に編入しますが、入学後にその研究室の先生がいない場合もありますか。

A.研究室の先生がいなくなる可能性はあります。

Q.大学の3年次へ編入して4年次に就職する場合がありますか

A.あります。4年で卒業する場合には卒業研究をする必要がある。昔より進学する率は減っているように思います。インターンへ行ってそのまま就職する人もいる。

保護者からの要望

要望：連絡を早めにいただきたい。例えば、進路ガイドが12月26日に出されて正月直前、冬休み中に親子で話をしてとされても困ってしまった。

回答：学生経由となってしまったため、さくらメールを活用していきます。

新5年生の保護者へのアドバイス

4－5月が一番不安定となります。暖かく見守ってください。困ったら誰でも対応できますので、担任や研究室の先生に相談してください。

5 学年 奥山 雄介 先生



現在、5年生は卒論の総仕上げの時期に入っています。

テストが終わっても、卒論を書き上げなければ卒業は確定しません。慣れない執筆作業に苦勞している学生も多いですが、これまでの5年間の集大成として納得のいくものを完成させてほしいと願っています。家庭では進捗が見えにくいかもしれませんが、研究室では仲間と協力したり、発表練習を重ねたりと、皆それぞれのペースで励んでいます。

就職・進学が内定しているこの時期、最も気をつけていただきたいのが怪我です。

雪山での活動に注意：卒業旅行やレジャーでスキー・スノーボードに行く機会が増える時期ですが、この時期の怪我で入社式や入学式に支障が出るケースがあります。せっかく掴み取った次の舞台を、松葉杖や入院で迎えるのは本人にとっても不本意なはずで「健康な体で卒

業式を迎え、次の舞台に立つこと」を最優先に、日々の生活を送るようご家庭でもお声がけください。

保護者からのQ&A

Q. 卒論のボリューム（ページ数）はどのくらいですか？

A. 学科によりますが、環境都市工学科を例に挙げると「A4サイズで最低30ページ程度」が一つの目安です。図表やグラフ、データなどを多く含むため、文章だけの分量でいえば15ページほどになります。

Q. 卒論はグループで取り組むこともあるのですか？

A. テーマによって異なります。1人で取り組むケースもあれば、2～3人のペアやグループで協力して進めるケースもあります。中には同じテーマを7人で分担して研究している研究室もあります。複数人で取り組む場合は、テーマの中身が多いことがあると思います。役割分担による苦労もありますが、協力して大きな成果を出す経験になっています。

Q. 発表会はどのように行われましたか？

A. 学生は全員スーツを着用して臨みます。今年は「発表7分＋質疑応答3分」という時間配分で行われました。自分のクラスメイトだけでなく、1年生～4年生の後輩や先生たちの前で発表しました。限られた時間内で自分の研究を伝えるため、発表のリハーサルをして臨んでいました。

Q. 完成した論文は手元に残りますか？

A. 学校には記録として保管されます。学生本人が製本されたものを持ち帰るかどうかは、指導教員の判断や学生本人の希望によります。

後援会長野支部 役員退任の挨拶

長野支部長 伊藤 誓敏

令和七年度、長野高専後援会長野支部長を務めさせていただきました、伊藤誓敏です。

本年度は、私自身にとっても変化の多い一年であったように思います。

工嶺祭における休憩所の運営では、セルフサービスを導入したことで、利用者と提供者の関係性について、改めて考える良い機会となりました。

また、学年別懇談会につきましては、昨年に続き北信地区の各支部の皆さまと合同開催を実現できただけでなく、今年度は初めて学校施設をお借りして実施することができ、その結果、費用面での負担を大きく抑えることができました。

一方で、課題も多く残りましたが、次年度以降への期待として引き継いでまいりたいと思います。

至らぬ点多々あったかと存じますが、役員の方々に大いに助けていただき、一年間、無事に活動を終えることができました。

後援会活動を通して、多くの方と交流することができ、人脈も広がり、私にとって大変貴重で、得難い経験となりました。

これまでの皆さまのご協力に心より感謝申し上げます、支部長退任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

編集委員：上條 久美子 瀧澤 ゆかり 古城 ちさと 荒川 千愛 原 正悟 山崎 美芳